

たちかわししゃかいふくしきょうぎかいせいかつかいごしえんじぎょうしょ きかんし
立川市社会福祉協議会生活介護支援事業所の機関紙

NO.29

マンモスしんぶん

へいせい ねん がつ にちはっこう
平成29年3月15日発行

しんねんかい 新年会～マンボウ～

1月11日(水)に新年会を行いました。

新年会ということで、みんなの顔写真を使用した『かるた大会』を行い、司会者が読み上げるお題に合った顔写真を取り合いました。予選を2組に分け、取れた枚数を競い合い、枚数の多かった6名でいざ、決勝戦～！

決勝戦では、職員の昔の写真をお題に『この人、だ～れ?』クイズを行いました。職員にはなるべく本人だとわからない写真を用意してもらい、ノーヒントで誰の写真かを当ててもらいました。面影がありすぎてすぐに解ってしまう写真や、周りの風景や着ている服で年代を推測しても誰なのかわからない写真があり、利用者・職員ともに大変盛り上がりました。

お昼には「ちらし寿司」を食べ、おやつには「おしるこ」を頂き、冬を忘れさせるほどの笑いと熱気に包まれた楽しい一日となりました。



発行：たちかわししゃかいふくしきょうぎかいせいかつかいごしえんじぎょうしょ
立川市社会福祉協議会生活介護支援事業所

〒190-0013 たちかわしふじみちょう
立川市富士見町2-36-47

Tel 042-529-8353 Fax 042-529-8714

しんねんかい 新年会～コスモス～

1月6日（金）に琴の音色が流れる中“新年会”が開催されました。

職員が獅子のお面をかぶり、「獅子の舞」を披露、とても迫力のある演出でした。獅子に頭を噛まれるとその年は無病息災で元気に過ごせると言い伝えがあり、コスモスでも獅子が利用者様の頭を噛んで回りました。

お正月の遊びの定番である「福笑い」も行いました。一人一人個性いっぱいの顔を作り、その顔と今年の干支の「酉」を背景に記念撮影をしました。お正月ならではの雰囲気を楽しみ、良い一年のスタートを切ることが出来ました。



せつぶん 節分～マンボウ～

マンボウでは2月3日（金）に季節行事として節分を行い、ボールを豆に見立て、豆まきをしました。

豆まきでは二つのグループに分かれて鬼をやっつけようとしていましたが、なかなかしぶとい鬼たちだったので退治できませんでした。全員で力を合わせたことで無事に鬼退治することができました。

レクリエーションでは節分ボーリングを行いました。一番福・二番福・三番福のピンを置き、一番福を目標掛けてボールを転がしてみんなで競いました。途中、退治した鬼が戻ってきましたが、邪魔をせず、一番福に当たるよう応援してくれました。最後はみんなで作成した飾り付けの前で記念写真を撮った後、デザートプリンを食べ、楽しい一日をみんなで過ごしました。



せつぶん 節分～コスモス～

2月3日（金）に恒例の“節分”の行事を開催しました。最初に職員が赤鬼・青鬼に仮装して、節分の雰囲気盛り上げるために奮起！

利用者は赤鬼と青鬼チームに分かれ、豆の代わりにカラーボールを赤鬼か青鬼のボール入れめがけて投げました。それから鬼のかつらをかぶったり、鬼棒を持ったりして記念撮影をしました。撮影後は赤・青どちらのチームのボールが多いのか？？利用者様と職員と一緒にカウントして会場はどきどきムードいっぱいでした。

ゲームの盛り上がりムードとは一転。ゲーム後はおやつをゆっくり食べてまったりした空気でイベントは幕を閉じました。



しょくいんけんしゅう たいじんえんじょ せつぐう 職員研修～対人援助の「接遇」～

3月10日（金）に職員研修を実施しました。今回は、「接遇」をテーマに行いましたが、挨拶やマナーとかではなく、利用者様が心地よく過ごしやすい環境になるために必要な「言葉遣い」「態度」「部屋の雰囲気作り」などを学びました。

研修では、「風通しの良く、職員が笑顔でいる事業所は良い事業所である」と講師の先生から説明があり、生活介護職員一同、笑顔が溢れるマンボウ、コスモスを目指していくことを再認識する研修会となりました。

＊ 編集後記 ＊

今年度最後のマンモス新聞です。来年度に向けて皆様準備は出来ていますでしょうか。来年度はまた新たな風が吹き込むので、新しい雰囲気のもとみなさんで笑顔の溢れる日々を送りましょう。（つ）